

19 スミス 『大ブリテン島及びアイルランドの古代服飾』 7世紀から16世紀まで

Smith, Charles Hamilton. *Selections of the ancient costume of Great Britain and Ireland* from the seventh to the sixteenth century. London, William Bulmer, (1811—1813) 1814. 60 plates (hand-col.) 37.5 × 26.7cm <383. 133-S>
Hiler p. 803 Colas 2755 Lipp. 988

アングロ・サクソン王に始まり、16世紀初頭に至る大ブリテン島とアイルランドの時代服飾及び風俗画が収められている。「アングロ・サクソンの婦人」「10世紀における司教と修道士」「ウィリアム1世の英国征服時の船積み」「愚人と道化師」「アンジョーのマーガレット女王」「闘技」「漁夫」など61枚の図版はアクアティント手彩色でフォリオ版。図版には絵に示された人物や衣装が詳細に解説されており、その出典も付記されている。原画者はスミス、銅版製作者はヒル (J. Hill)、アトキンソン (I. A. Atkinson)、ハーヴェル (R. Havell)。序文によると、ストラット (J. Strutt) の著作『ブリテン島の住民と衣服の全容』*Complete view of the dress and inhabits of the British Island* (25) を評価してはいるものの、当時の文献は必ずしも事実に忠実ではなかった。

服装の歴史は、同時代の記念碑、プラス、ステンドグラス、古代の写本などから構成されるが、好古家の偏った収集や興味によって、素材の一部が削除されることもあり、衣装やそれに関連する事物の真実がゆがめられていた。著者は、はじめ私的な趣味として収集をしていたが、集積される衣装、武器、装飾品などの資料から、その誤りを見出し、削除されていた部分やゆがめられていた図像の復元に努力し、衣服の真実を伝えようとしたことが述べられている。ここに収められた図版も、これら著者の所有するべく大なコレクションの中から選ばれている。本書の初版は1811年から1813年にかけて刊行されているが、書名は *Ancient costume of Great Britain and Ireland*…となっており、1818年と1848年に再版されている。(平井)